

白井 鳥居線舗装願う

道路・交通関係

白井 鳥居線の早期完成を。
： C

白井 鳥居線は、普代村が管理する道路ですが県が改良工事、普代村が舗装工事と役割分担を定め県と普代村が一体となり工事を進めてきました。村の財政事情で事業が進まないようです。早期に工事が完成されるよう村を指導、助言していきます。「緑の村」までの道路整備を。
： C

路線は、白井 鳥居線で普代村が管理する道路です。早期に工事が完成されるよう村を指導



一日も早い完全舗装を。村民の期待が集まります(白井 - 鳥居線)

助言していきます。

三陸鉄道を廃止してはどうか。各市町村営バス連携で代替が可能なのは。
： C

養殖技術開発に力を

農業・林業・水産関係

畑(和野山)の水はけが悪く道路なども水溜まりができているので、対策を。
： A

現地調査の上、必要に応じて十三年度事業で対応します。

畑工事も終わったが、畑の中に大きな石が出てきた。工事終了後でも処理できないものか。
： A

現地調査の上、必要に応じて十三年度事業で対応します。久慈のハウレンソウは、販売額十億円を目標に頑張っている。いろいろ他の産物に対しても支援・PRを。
： A

県では、これまでも地域特性にあつた産物の振興、生産流通対策の支援、県内外で消費宣伝イベント開催などさまざまな販路拡大に向けた取り組みを重点

三陸沿岸地域を縦断する唯一の公共交通機関で、今後とも地域に果たす役割は大きいと考えています。廃止は検討していません。県と沿岸市町村は、岩手県三陸鉄道強化促進協議会を組織し三陸鉄道の利用促進に取り組んでいます。

的に実施してきました。今後も、各種の支援を行っていきますので支援と協力をお願いします。

地域の活動団体(婦人会・生活改善グループなど)に会議への出席要請が多く、活動そのものに支障が出ているので対策を。
： A

実際に活動している方々の意見を聞いて十分調整を図り、事務を進めていきます。

天然林利用は山の所有者の考へだが、国・県が進める造林業のかたちとは大きく食い違つ。漁業の村では、河川を通じて海に栄養を送る観点から天然林を残す方策を。
： A

本県の林業施策推進協力に対して厚くお礼申し上げます。本県の造林施策は、戦後の国土復興を目指した強力な推進でしたが、県民の期待や要望に対応して公益的機能の高度発揮を



養殖コンブも大事な収入源です(今年6月の作業風景。太田名部)

図る森林整備へ施策を転換しています。このため、県など公的機関の森林整備は平成十二年度で終了。新たに公益保全森林整備事業を創設、資源の保続と公益的機能の充実に努めています。

森と海のつながりについては新たな事業創設に取り組んでいくところですが、ご理解ください。

森林所有者のご意見は、部落座談会などの機会に伺い施策の参考にさせていただきます。今後ともよろしく申し上げます。

村の最上流部に国有林があり、年々伐採が進み水流がだいぶ減つてきている。普代川の水量を回復するよう力を貸してほしい。
： A

提言について、当地域国有林の管理者である「三陸北部森林管理署久慈支署」に伝えます。また、管理者や村林政担当課と緊密な連絡をとり、情報収集などに努めます。海藻類が収入になる期間は決まっています、収入になる品目も

減っている。県でも増養殖研究を。また、県の今後の目標があれば教えてほしい。
： A

ワカメ・コンブ以外の海藻類養殖は、水産技術センターでマツモの無機質培養種苗の生産と養殖技術開発を実施しています。

県では、また新たな養殖種としてイワガキの養殖技術の確立に取り組んでいます。

養殖コンブの廃棄物(製品を取った残り)処理方法が問題となっている。肥料にするなど何か役に立つものにならないか、良い処理方法を。
： A

県では水産庁を通じて海上保安庁と協議、平成十一年「アワビ、ウニ増殖のためのワカメ、コンブ給餌実施要領」を定めています。各沿岸漁業では、この給餌要領に従い県漁連に給餌計画書を提出、県漁連では県内漁協の計画書を取りまとめ海上保安部に提出しています。